

令和 5年度 青年部活動報告書（令和6年1月～令和6年3月）

全青会理事提出日 第4回 令和 6年 3月20日

ブロック名： 九州ブロック
 報告日： 令和6年3月20日
 報告者： 九州BC出向理事 三石 宏幹


※書ききれない場合は行を挿入して記載してください。

1. 都道府県青年部の活動報告		
都道府県名	月 日	活 動 報 告
福岡県	1月20日	福岡市の櫛田神社にて新年の安全祈願を開催しました。
		その後、同市内にて新年会を開催しました。
		会内で次期会長内定の報告と事業への参加が呼びかけられました。
佐賀県	1月20日	例会・新年会
大分県	1月12日	青年部役員会・懇親会
	3月14日	親会・青年部 合同懇親会
宮崎県	1月20日	青年部・賛助会員ゴルフコンペ・幹事会・新年会（都城市）
	1月25日	新春懇談会・賛助会員との意見交換
	2月17日	九プロ大分事業（5名参加）
	3月19日	現場見学会（都城山之口陸上競技場）
沖縄県	3月1日	集会を行い、意見交換、大分県事業の報告
		県事業活動意見交換、全青会全国大会参加の確認
		3月21日開催のJSCA勉強会の打ち合わせなどを話し合った。
鹿児島県	2月29日	人材確保研修会
	3月16日	(株)筑邦製作所様会社見学


2. 近況報告・市況等	
都道府県名	内 容
福岡県	市況としては夏場までは若干仕事量が薄い模様。
	2024年全体で見ても同様で2025年以降の仕事量が多くなりそうな状況。
	鋼材価格は副資材同様に2024年問題、及び賃上げに対応する値上げも含めて
	上げ相場の感は強いが、市況に伴っていないので見積りは微増にて対応。
	2024年問題に対して見積条件書の専用書式を経対委員が作成し、使用を呼びかけています。
大分県	FAB間により仕事の偏りが出てきている。
	中小物件の見積が少ない。春先から夏にかけて山積みが低いと思われる。
宮崎県	Hグレードは一定の仕事量は確保しているように思える。
	Mグレード以下については中小物件が少なく山積み・稼働状況共に下がっているように思われる。
	物価上昇に伴い建築コストも上がるため先行き不透明感を感じる。
	見積り件数も少ない。
長崎県	仕事量は各社3～6カ月。多い所で8カ月。
	見積りは地域でバラつきはあるが少なくは無いもよう。
	大型案件の動きはあるが支部として受注できる規模ではないので上位グレードでの

	対応になる物件がある。
	市況として上期は仕事が少ないような話がある。
沖縄県	1.Hグレードは大型物件が多く当面、工場稼働は順調 Mグレード以下も仕事量も確保されている状況
	2.函面遅延による製作工程が厳しい状況になっている事が多くみられる
鹿児島	人材確保や輸送について色々と課題がある。

3. ブロックの活動報告	
月 日	内 容
1月15日	役員会WEB
2月17日	大分事業 FAB MOT講座 講師 東鉄工業(株) 足立社長
2月26日	役員会WEB
3月13日	役員会WEB



4. 構造設計者との交流活動の状況報告（各府県で実績があれば記入願います。）	
月 日	内 容
宮崎県 2月16日	JSCA宮崎との合同勉強会・懇親会
福岡県 3月8日	福岡市博多区にて親会技術委員との共催でJSCA青年部様との意見交換会を開催しました。昨年に続き交流再開2回目の開催で、今回はJSCA様からの意見要望をFAB側が回答するという形式でグループ討議を行いました。
	討議終了後、同会場にて懇親会を行いました。懇親会中も様々な意見交換が活発に行われ、活況の内に閉会しました。
沖縄県 3月21日	JSCA沖縄地区会との勉強会・意見交換会
佐賀県 3月1日	佐賀県鉄構工業会青年部、JSCA九州佐賀支部 共催 CN勉強会
	議題「鉄は、人と地球とともに」 講師：日本製鉄（株）大阪支社 建材開発技術室建築建材技術課 主幹 佐々木 正道



5. その他、府県の青年部への協力依頼（仕事・青年部）困った事・全青会への依頼・相談事	
都道府県名	内 容
	特になし